

経営比較分析表（令和4年度決算）

高知県 あき総合病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	200床以上～300床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	23	対象	透訓	救急へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
684,964	20,771	-	第2種該当	7：1

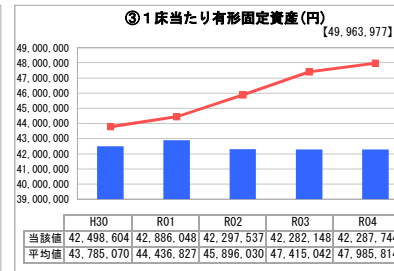
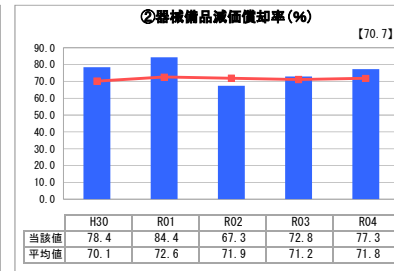
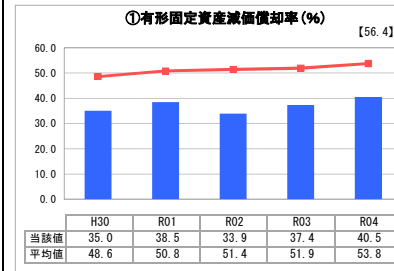
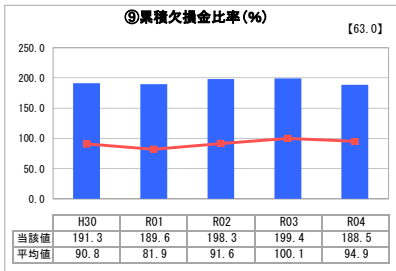
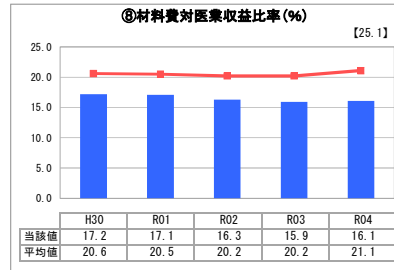
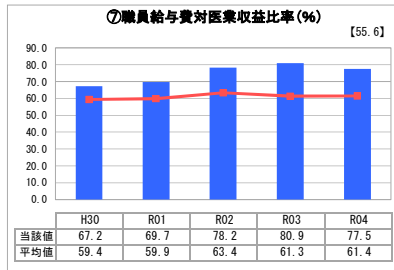
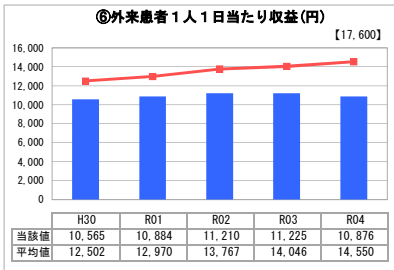
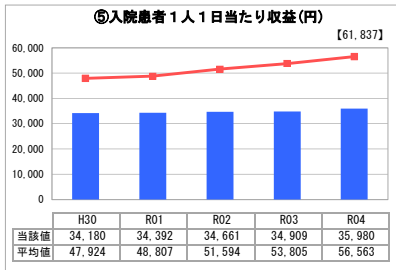
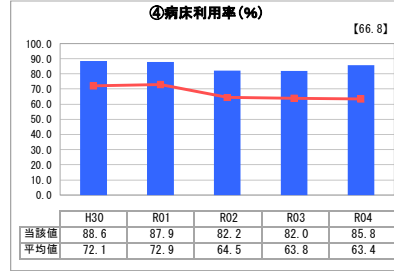
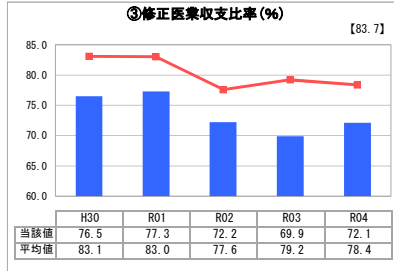
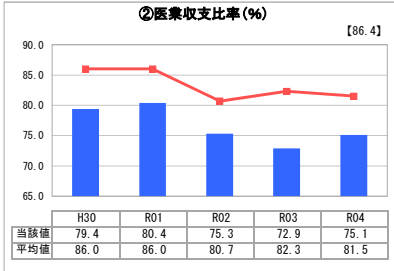
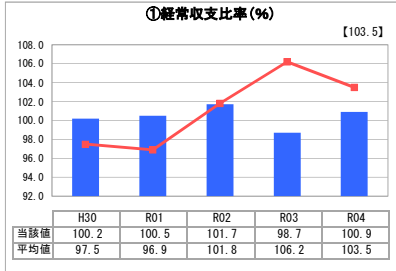
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
175	-	5
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
90	-	270
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
163	-	163

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
[]	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
継続強化 (従来の取組・ネットワーク化を含む)	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

- 二次保健医療圏における中核病院として、急性期医療から過疎地等における一般医療までの幅広い役割を担うほか、救急、小児、周産期をはじめとする不採算部門に関わる医療を提供している。
- 地域における災害拠点病院として、災害医療の中心的役割を担っている。
- 県東部地域において、公立では唯一精神病床を持っており、措置入院の受け入れをはじめ、精神疾患の拠点としての役割も担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

当病院は精神病床を有していることから、医業収支比率や診療単価は類似病院の平均値より低くなっている。また、令和4年度は電気料高騰による光熱水費の増加などにより、医業費用が増加したものの、患者数の増加などによる医業収益の増加額が医業費用の増加額を上回ったことにより、経常収支比率は100%を上回る結果となった。

2. 老朽化の状況について

平成26年度に改築されたばかりであり、有形固定資産償却率は類似病院平均値より低位である。また、1床あたり有形固定資産額は平均値より低く抑えられており、今後とも施設設備の適正な管理に努める。

全体総括

- 令和4年度の病床利用率は、コロナ渦前の令和元年度の利用率までは回復していないものの、前年度より増加し、順調に回復している状況である。また、類似病院平均値は上回っている。
- 収益面においては、精神病床を有していることから入院診療単価は類似病院平均値に比べて低いものの、順調に増加している。経常収支比率については、医業収益の増加により2年ぶりに100%を上回った。
- さらに、職員給与費対医業収益比率は引き続き高い傾向にある。今後も良質な医療を安定的に提供していきけるよう経営改善の努力を継続していく。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。

経営比較分析表（令和4年度決算）

高知県 幡多けんみん病院

法適用区分	業種名・事業名	病院区分	類似区分	管理者の情報
条例全部	病院事業	一般病院	300床以上～400床未満	自治体職員
経営形態	診療科数	DPC対象病院	特殊診療機能 ※1	指定病院の状況 ※2
直営	20	対象	透I未訓方	救護が感へ災輸
人口（人）	建物面積（㎡）	不採算地区病院	不採算地区中核病院	看護配置
684,964	26,023	-	第2種該当	7：1

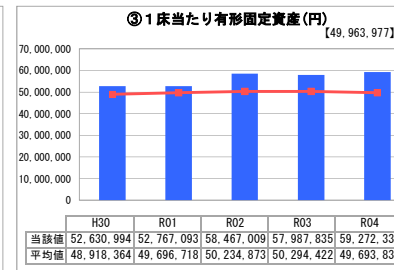
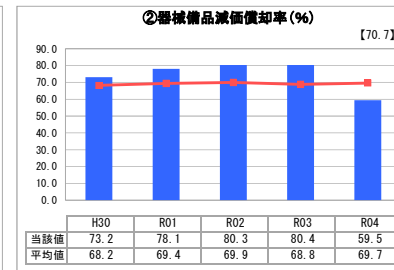
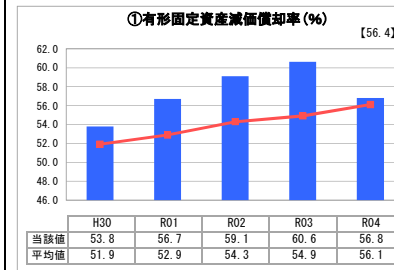
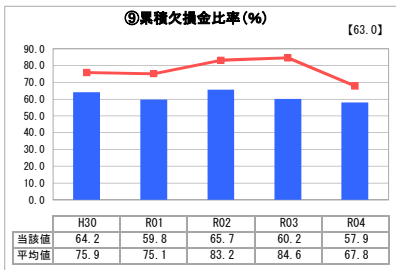
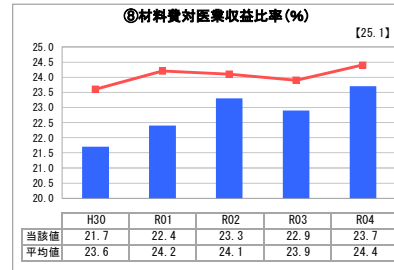
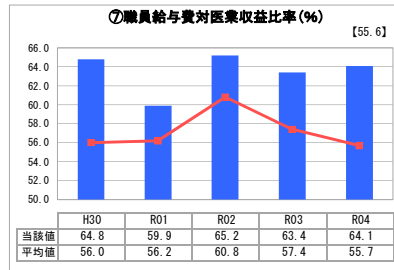
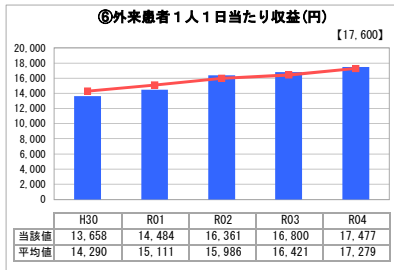
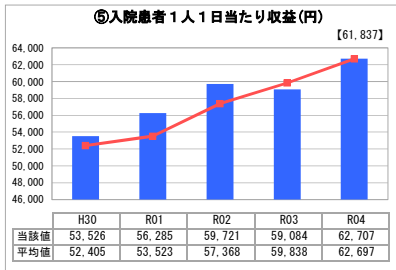
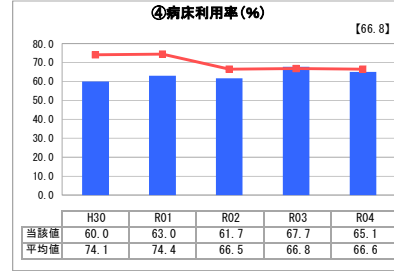
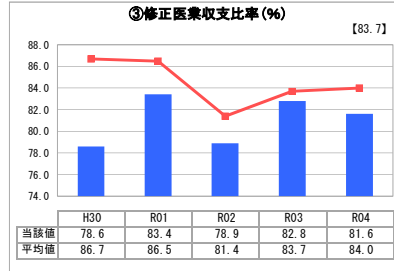
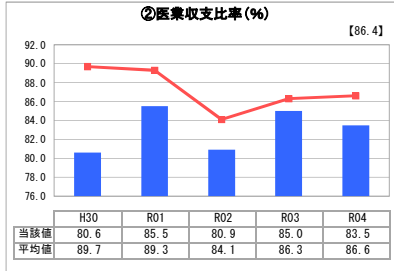
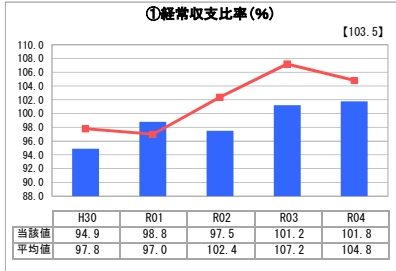
※1 ド…人間ドック 透…人工透析 I…ICU・CCU 未…NICU・未熟児室 訓…運動機能訓練室 ガ…ガン（放射線）診療

※2 救…救急告示病院 臨…臨床研修病院 が…がん診療連携拠点病院 感…感染症指定医療機関 へ…へき地医療拠点病院 災…災害拠点病院 地…地域医療支援病院 特…特定機能病院 輸…病院群輪番制病院

許可病床（一般）	許可病床（療養）	許可病床（総核）
291	-	28
許可病床（精神）	許可病床（感染症）	許可病床（合計）
-	3	322
最大使用病床（一般）	最大使用病床（療養）	最大使用病床（一般+療養）
262	-	262

グラフ凡例	
■	当該病院値（当該値）
—	類似病院平均値（平均値）
【	令和4年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況

公立病院改革に係る主な取組（直近の実施時期）		
（継続強化・連携強化） （従来の取組・ネットワーク化を含む）	地方独立行政法人化	指定管理者制度導入
-	年度	年度

I 地域において担っている役割

・二次保健医療圏における中核病院として、急性期医療から過疎地等における一般医療までの幅広い役割を担うほか、救急、小児、周産期をはじめとする不採算部門における医療を提供している。
・特に、県中央地域から遠隔であることから、地域完結型医療を目標に、救急をはじめとする高度急性期医療も担っている。
・地域における災害拠点病院として、災害医療の中心的役割を担っている。

II 分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

令和4年度は前年度より患者数は減少したものの、新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金が増加したことにより、経常収支比率は前年度に引き続いて100%を超えた。また、診療単価は前年度に比べ増加し、類似病院平均値とほぼ同額となっている。

2. 老朽化の状況について

令和4年度は医療情報システムを更新したことにより、前年度に比べ有形固定資産減価償却率及び器械備品減価償却率は低下している。しかしながら、開院から20年が経過し老朽化が進んでいることから、施設の改修・修繕により適切な維持管理を行い、施設の長寿命化に努めていく。

全体総括

・令和4年度は前年度より患者数は減少したものの、新型コロナウイルス感染症対策事業費補助金が増加したことにより、前年度に引き続き経常収支比率は100%を超え、黒字となった。
・しかしながら、病院を取り巻く環境は引き続き厳しい状況にあることから、地域の医療ニーズ等も勘案し、地域を支える中核病院として良質な医療を安定して提供し続けられるよう経営改善の努力を継続する。

※1 類似病院平均値（平均値）については、病院区分及び類似区分に基づき算出している。